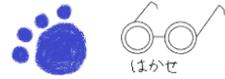


## 総領事館だより

マレーシア歴史探報(博士とぺにゃんの旅シリーズ・クランタン編)



ぺにゃん：さあ、博士、今回の旅はクランタン州ですにゃ。クランタン州は日本の岩手県と同じくらいの広さで約15,000km<sup>2</sup>、人口は約180万人にゃ。

博士：ぺにゃんよ、クランタン州はいわゆる太平洋戦争での一番初めの開戦場所なんじゃ。マレー作戦と言われ、シンガポール島を攻略することを最終目的としていたんじゃ。

ぺにゃん：へー、ハワイの真珠湾への攻撃が開戦の初めだと思っていたにゃ。

博士：日本軍が12月8日未明にクランタン州コタバルに上陸(時間については諸説あり：コタバル州は12月7日午後11時45分を上陸時間として採用。コタバル戦争博物館所有の日本軍の『馬來作戦「コタバル」附近上陸戦闘経過概要 昭和17年6月28日第25軍司令部』によると8日午前1時30分に進撃命令と記載)を開始し、英軍と大激戦となり、当時「海の二〇三高地」とまで言われたのじゃ(二〇三高地は、日露戦争最大の激戦地)。

(引用・大東亜戦史マレー作戦 朝日新聞社刊)



↑ 上陸場所案内板



↑ 上陸場所



↑ 上陸記念碑



博士：碑がある場所は浸食が激しく、現在クランタン州最大の日系企業ローム・ワコー社とペナン総領事館らが協力して、新たな碑と日本庭園を建設する計画があるそうじゃ。

拡大図

\* 碑文内容

12月7日午後11時45分  
に上陸

博士：現在コタバルの日本軍上陸地点には上陸記念碑があり、近くには戦争博物館があるから皆にも是非行ってもらいたい。その後日本軍は電光石火のごとくイギリス連合軍と戦いながら、55日間で約1100キロ（1日辺り約20キロ）を進撃してシンガポール要塞を攻略したのじゃ。何故、シンガポールって？？それは、当時イギリスにとっては、最も重要な植民地であり、インドとアジアを結ぶ重要な地点だったからじゃ。

ぺにゃん：すごいにゃ、博士。1日辺り20キロって！？ぺにゃんなら、普通に歩くだけでも5時間かかるにゃ。戦いながらってどうやってこんなに早く進めるにゃ！？

博士：そう、ぺにゃんよ、当時はジャングルで悪路も多く、道を切り開きながら進んでいたのじゃ。日本軍は徒歩だけではなく、自転車を使ったのじゃ。戦車が通れない場所や川を渡るときにも担いで渡ったそうじゃ。そしてこれがいわゆる、銀輪部隊と言われているのじゃよ。

ぺにゃん：ちゃりーん。ぺにゃんも自転車で探してみるにゃ！！



ヒノデハマガタス

博士！早速、クランタン州マチャン（Machang）で戦跡を見つけてきたにゃ。すごいにゃろ！



戦跡記念碑(Sekolah Menengah Keangsaan Hamzah校内)

- \* 約20年前にHamzah校から3~4Km離れたSat川で発見された実物。現在も同校内に設置されている。
- \* 記念碑裏彫刻内容  
那須部隊 激戦地 昭和16年12月12日  
11時占領



目下、マレーシアの歴史を飼って勝手に研究している（略してマレ研）マスコットキャラクター。活動範囲はペナン、ペラ、ケダ、ペルリス、トレンガヌ、クランタンが限界。



マレ研顧問でちょっと物知り。

- \* マレー作戦開戦の暗号（ヒノデ（開戦日）ハ ヤマガタ（12月8日）トス）